



ゆいくみつうしん



あっという間に季節は梅雨になりました。先日は保育参観に参加していただきありがとうございました。日頃から楽しんでいる遊びをご覧いただけたのかと思います。蒸し暑い日が続きますが、体調に気を付けながら過ごして行きたいと思います。

今月の通信では、パズルの作成過程についてお知らせします。

日頃から、パズルや動物・お弁当の型はめパズルなど色々なパズルを楽しんでいます。4月当初は30ピースのパズルを完成させるのがやっとだった子たちも、今では45ピース65ピースと細かいパズルに挑戦する姿が見られています。



そんなとき、恐竜と動物園の大きなパズルがあり、お部屋に持ってくるとさらに興味津々でお友だちと一緒に「これ何処かな?」「これパンダじゃない?」と協力し合って大きなパズルを完成させている姿が見られました。

こんなかわいい姿を保護者の方にも見てもらいたいと思い、保育参観でパズルをすることになりました。



自分達を作るパズルならより楽しんでもらえるのではないかと考え、動物と虫のパズルを作ることに。下絵を描いている段階から「何かいているの?」と興味津々でした。

色塗りでは、「ピンク塗りたい」と好きな色を塗ったり「ダンゴムシにする!」と大好きな虫を選んで塗ったり、子ども達それぞれで決め方はいろいろありましたが絵具を使って塗ることを楽しんでいました。その動物や虫の色が分からない時は調べて「この色かな?」と一緒に考えながら塗りましたよ。



2種類の絵が完成し、みんなで見た時には歓声が上がりました。自分達で作ったのはやはりうれしかったのでしょうね♪



パズルは集中力がつく、記憶力が向上する、空間認知に強くなる、色彩を細かく認識できる、手先が器用になる、などの力がつきます。また、やり抜く力や大きなパズルを友達と一緒に協力する事でコミュニケーション能力(非認知能力)も伸びてくれることを願っています。